

# 9 総合効果

## 1. 有形の効果

企業体質の強化をねらいに、経営課題の達成と品質保証を中核とした管理体系の整備をはじめとするTQM活動を推進してきた結果、次のような効果を上げることができた。

### 中期経営基本方針による経営目標の達成

中期経営計画を明確にし、方針管理にもとづき活動を進めた結果、経営課題の達成ができるようになり企業体質の強化が図れた。

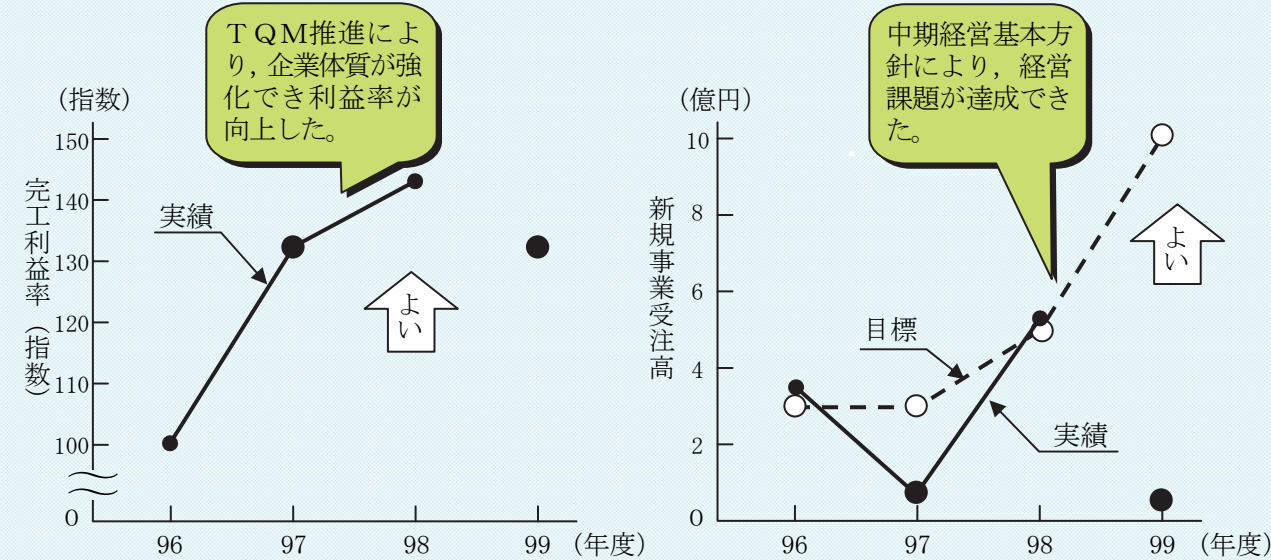


図1 完工利益率 (指数)

図2 新規事業受注高

### 未然防止ツールによる品質不具合の低減

品質保証体制の強化に取り組んだ結果、日常の管理が徹底できるようになり、品質の不具合が低減できた。

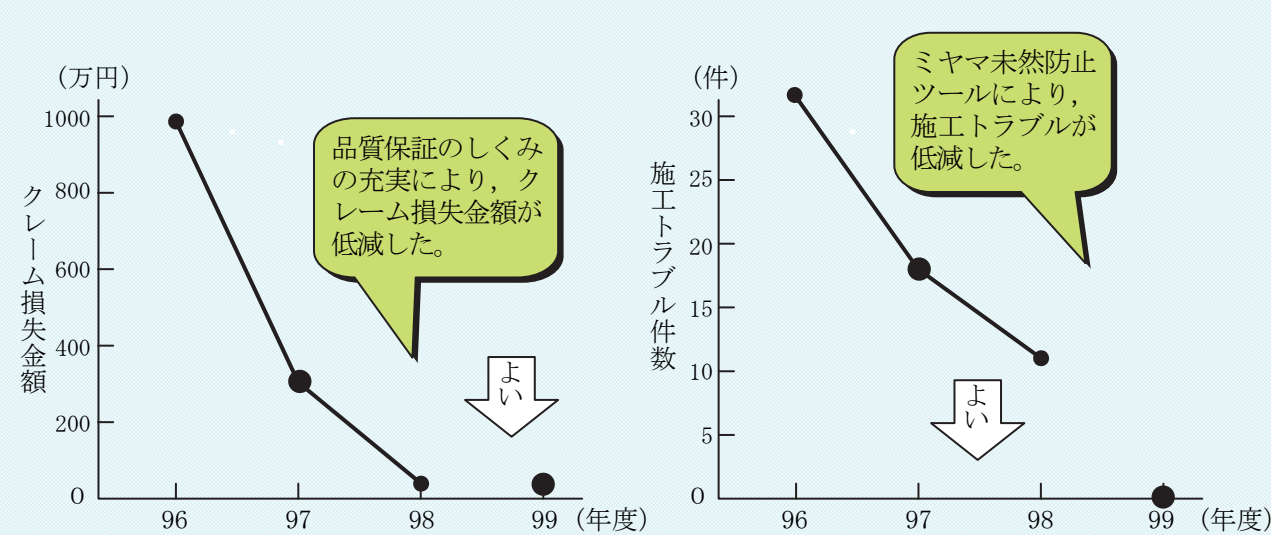


図3 クレーム損失金額

図4 施工トラブル件数

### T7による環境技術の開発

「T7」(新技術開発7つ道具)の活用により、開発品質が向上し新規事業に結び付く魅力的技術が開発できた。

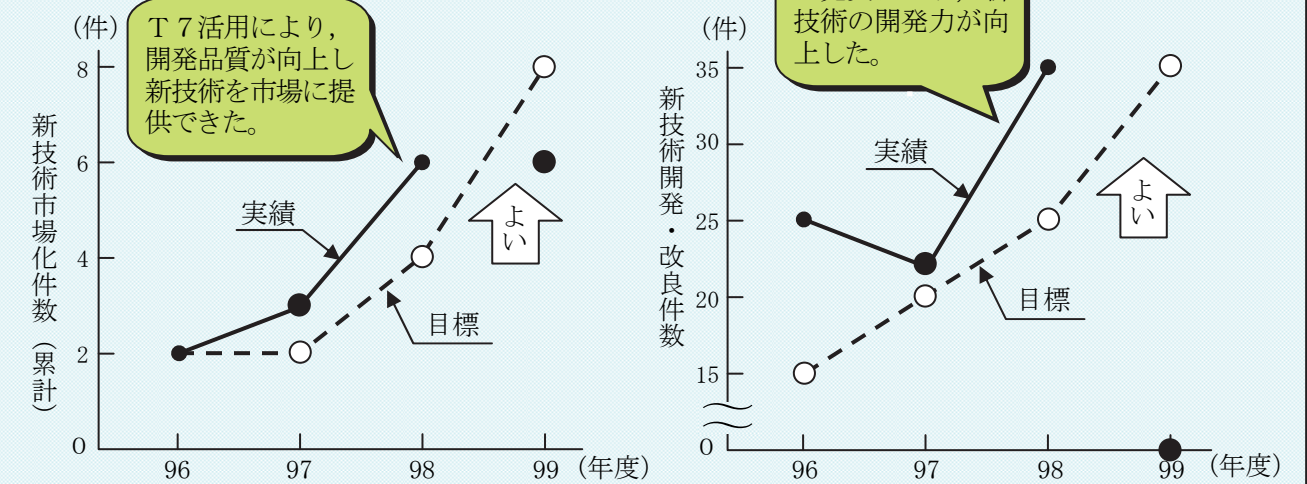


図5 新技術市場化件数 (累計)

図6 新技術開発・改良件数

### 特化技術の研鑽による顧客信頼度の向上

管理体制の強化と特化技術の向上・提供により、顧客満足度が向上し当社の信頼の増大が図れた。

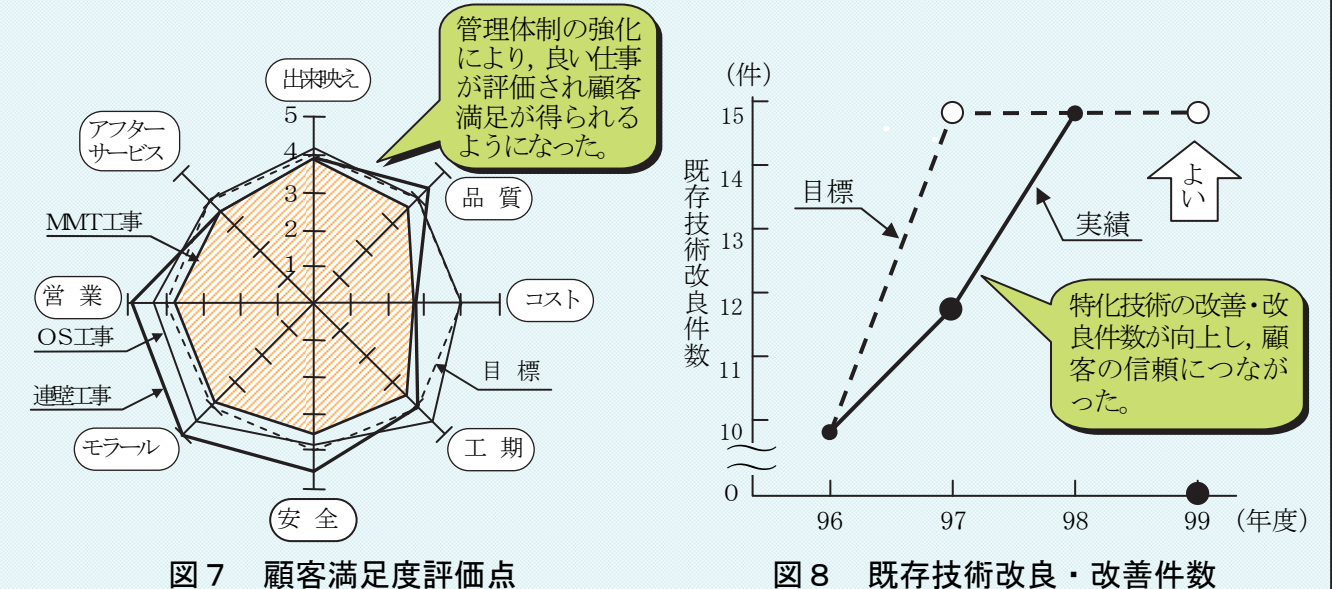


図7 顧客満足度評価点

図8 既存技術改良・改善件数

## 2. 無形の効果

- 機能別重点活動を主体とした経営課題達成の取り組みにより、各機能別の管理体系が充実してきた。
- 新技術開発ツールにより、魅力的技術の開発に取り組めるようになった。
- 特化技術の向上・伝承の取り組みにより、企業基盤の強化ができた。